

## 社会的視点からの評価項目や留意点

### 福島県民目線で感じること

1月15日、第2回トリチウム水タスクフォース会合での報告資料

コープふくしま 野中俊吉

#### I、社会的な視点からの評価項目や留意点

(1) 2013年12月20日閣議決定「原子力災害からの福島復興の加速に向けて」の通り一連の取り組みは福島復興の加速のためにあるべきと理解しています。

だからこそ、個別課題ごとの選択肢は福島県民の目線に十分配慮された切り口であることが大切であり、福島県民が復興の加速を実感できる内実が求められると思います。

#### 被災者(県民)の現状(いくつかの事例・・・3年過ぎてこの状態)

- ①不慣れな避難生活や度重なる避難先の変更などにより、関連死者数は被災3県中最多で、津波被害による死者数をすでに上回っています。
- ②強制避難住民の家はネズミや他の野生動物に荒らされ、そのまま住める状態ではない。(震災当日、近所の人と外の小屋で焚き火をして一夜を過ごし、朝になるとすぐに防災無線で避難指示が出され、地震で倒れた家具等の片付けもできずに着の身着のまま避難して、避難先を何箇所もさまよい、間もなく3年が過ぎようとしている。その間、我が家はネズミ等に荒らされ、ネズミの食べたカスやネズミの糞で覆われている) \*ある仮設住宅・・・双葉町の仮設住宅だけでも県内何箇所にも点在している・・・の自治会長は『仮設住宅では息が詰まるので時々双葉町の我が家に帰る。しかし家の中を見ると落込むので、家には入らず外の物置周辺に腰をかけてタバコをすいながら数時間滞在して気分を紛らわせてまた仮設住宅に帰っていく』と話していました。
- ③富岡町の夜ノ森公園近くの民家の庭先にイノブタが9頭もたむろしていました。視察に訪れたわれわれのバスが停車して覗き込んでも、恐れることも無く平然としていました。
- ④すぐにでも帰還を考えている田村市の都路地区を通ると、民家の敷地や道路横に除染したものが詰まったフレコンバッグが無造作に置かれていました。
- ⑤住民帰還を進めようとしている南相馬市小高区(旧小高町)は住民が瓦礫撤去に取り組んでいますが、夏の間は生い茂ったセイタカアワダチソウに隠れて見えなかった瓦礫(ひっくり返った車等)が、草が枯れた今(冬)は姿を現し、小高地区でさえも帰還の準備が遅々として進んでいないという印象を受けます。
- ⑥浪江町は昨年末ころインフラ復旧に着手したようですが、瓦礫撤去などはほぼ手付かずという印象を持ちます。打ち上げられた漁船はそのままですし、津波遭難者捜索の際に積上げられた瓦礫の山はそのまま放置されています。

## **(2) 福島第一原発に関する住民(県民)の気持ち**

- ① 住民(県民)にとって、トリチウムはセシウムと比べて知識(「なじみ」)が薄いと思います。
- ② 住民(県民)にとって、トリチウムは新たな(謎の)放射能(放射性物質)として映っています。
- ③ 住民(県民)にとって、事故後2年以上経過してトリチウムが取りざたされることは、“またしても隠されていた”“二年間いったい何をしてきたんだ”という不信感を大きくしていると思います。
- ④ 住民(県民)にとって、トリチウム汚染水問題が今になって持ち出されることは、一号機から三号機への不安(不信感)を増大させていると思います。
- ⑤ 漁協組合長の声(漁業関係者としては、苦肉の策で、復興のため地下水バイパスにも協力しようとしている)
- ⑥ 住民(県民)は、第一原発からはすべての核種の放射性物質が海に流れていると思っっていますが、口に出せない人も大勢いると感じています。辛くて話題にしたくない人も大勢いると思います。
- ⑦ トリチウム汚染水を海に放出するということは、東京電力も国も放射能をコントロールする能力が無いという評価になってしまうと思います。
- ⑧ 住民(県民)は、『もうこれ以上福島県民に原発事故の犠牲を押し付けないで欲しい』と考えています。

## **(3) トリチウムを海岸から放出したらどんなことが起るか(考えられるか)**

- ① 住民(県民)の政府に対する信頼は地に落ちると思います。
- ② 避難指示解除されても住民の帰還意欲は萎えると思います。
- ③ 漁民の怒りは爆発すると思います。
- ④ この間努力してきてようやく回復基調にある農産物の風評被害は拡大すると思います。
- ⑤ 国際的な風評も拡大すると思います。

## **II、トリチウム汚染水処理の選択肢と評価項目に関して**

- ① トリチウムの影響が小さいとの話を聴きましたが、そうであれば今後設置されるであろう仮置き場に保管させてもらって、保管施設のメンテナンスを続けたほうが良いと思います。万が一漏れても影響が小さいならそれを修理していけばよい気がしますので、そういう選択肢も評価して欲しいと思います。
- ② タンクが満杯になる(80万トン)との説明がありましたが、何が要因か?、土地の問題か?。もっと増やせばタンク貯蔵できると思います。設置場所は東電敷地内に限定しなくても良いと思います。

# 社会的視点からの評価項目や 留意点

福島県民目線で感じること

1月15日、第2回トリチウム水タスクフォース会  
合での報告資料      コープふくしま 野中俊吉

# 原発事故被害の多様性

## 関連死者数1459人(8月末)

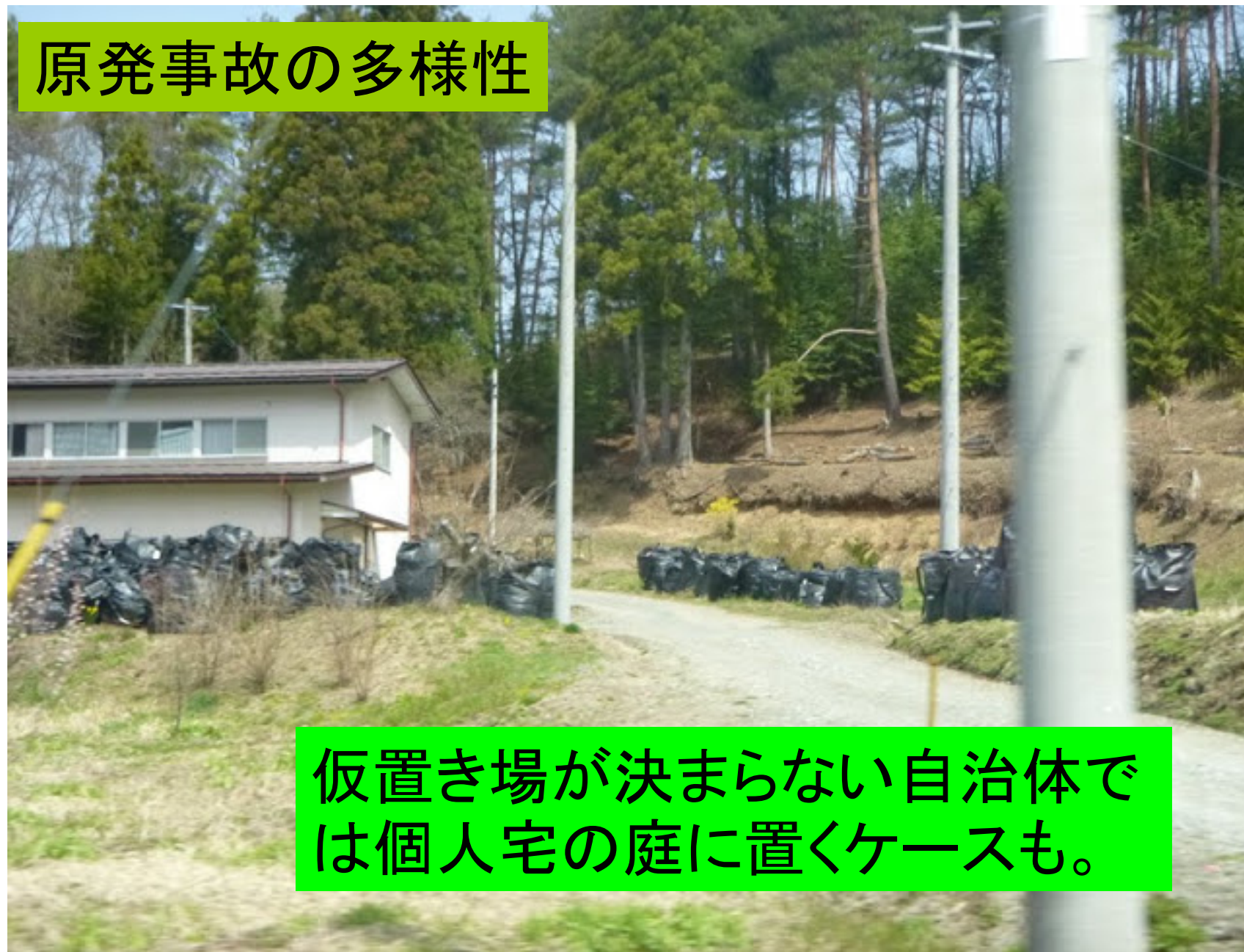
- 【原発事故関連死】法整備含め対策強化を
- 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故に伴う県民の「関連死」が8月末現在で1459人に達した。半年前に比べ、76人増えた。9月に入ってからも認定が続く。原発事故による避難者が大半を占める。不自由な生活による体調不良などによる。地震や津波などによる「直接死」1599人に迫る。生活の見守りや健康管理への支援を一層強めるとともに、認定や弔慰金などの制度を見直すべきだ。本県の関連死は東日本大震災で被災した岩手、宮城両県の合計を上回る。阪神大震災の919人、新潟県中越地震の52人を大きく超す。



# 富岡町の民家庭先をたむろするイノブタ



## 原発事故の多様性



仮置き場が決まらない自治体では個人宅の庭に置くケースも。

# 近港漁戸請





# 福島の農産物を支えとりくみ

- 福島応援隊
- 福島県内で事業を営む企業や団体の協力を得て、全国に農産物を利用してもらうとりくみ。
- 2011年夏、冬ギフトから3年間継続。

**ふくしまの農産物 第二弾 福島発。ふくしま故郷、旬の味!!**

地産地消運動促進 ふくしま協同組合協議会 (略称:地産地消ふくしまネット)

代表理事 庄藤 博

JA新ふくしま 会津みしらず柿 伊達みらいジューズ

「地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会」は消費者生活を支援する企業による協賛組合で構成し、「再生 福島」を主題に、福島を元気にする地産地消農産物支援活動を行っています。協議会は全国約30社の農産物を取り扱っており、国産や季節限定の農産物を積極的に取り扱っています。このたびの日本人気農産物大賞受賞は、今年で3年連続の栄冠を飾りました。今年も、協議会が企画する「地産地消応援隊」の協力を得て、「福島の味」を全国の消費者に届けていきます。今年度は、協議会が企画する「地産地消応援隊」の協力を得て、「福島の味」を全国の消費者に届けていきます。今年度は、協議会が企画する「地産地消応援隊」の協力を得て、「福島の味」を全国の消費者に届けていきます。

申込方法 同封のギフト注文書にてお申し込みください。

1. 同封のギフト注文書に必要事項をご記入の上、付属の封筒に入れて切手を貼らさせていただきます。

2. ご注文内容の確認後、地産地消ふくしまネットより代金お支払いの通知用紙を郵送でお送りします。

3. お近くのゆうちょ銀行からお支払い下さい。

4. ご入金確認後、お届け先住所へゆうちょパックにてお送り致します。

※ご注意ください。●お支払いは、お振替の予定です。●贈り物の送料をすべてお支払下さい。●お支払いは、お振替の予定です。●贈り物の送料をすべてお支払下さい。●お支払いは、お振替の予定です。●贈り物の送料をすべてお支払下さい。

JA新ふくしま TEL.024-954-3072 / JA全農福島 / 生活協同組合コープふくしま TEL.024-557-1340

**JA新ふくしま サンふじりんご**

無袋で栽培した人気のサンふじ。自然の恵を受けておいしいりんごをお送りします。ご家族にも、ご親類にもご利用ください。

●お届けサイズ 46×32×12cm 送料別 1箱 **3,000円**

●お届けサイズ 46×32×21cm 送料別 1箱 **5,300円**

承り期間(予定) 12/16(金)

お届け期間(予定) 11月下旬~12月下旬

**福島発。ふくしま故郷、旬の味!!**

JAあいつ 会津みしらず柿

伊達の蜜桃ジュース

桃の恵みジュース

伊達みらい ジューズ

お返し用紙

●お返し用紙を同封の封筒に入れてお送りください。●お返し用紙を同封の封筒に入れてお送りください。●お返し用紙を同封の封筒に入れてお送りください。

JA新ふくしま TEL.024-954-3072 / JA全農福島 / 生活協同組合コープふくしま TEL.024-557-1340

みなさまのご協力をお願いいたします。